

農業の担い手不足解消へ、学校事業を本格展開

農家や法人で従業員として働く“雇用就農者”育成講座を開講

「育成」「就農」「定着」をワンストップでサポートし、未経験者も“即”就農へ

サポート付き市民農園「シェア畑」など新たな農業ビジネスを展開する(株)アグリメディア(東京都新宿、代表取締役: 諸藤貴志)は、農業法人などに従業員として働く「雇用就農」を目指す人向けの講座「アグリアcademia 就農準備講座」を2018年3月に開講します。当講座で就農人材を“育成”し、当社が提供する国内シェアトップの農業特化人材サービスで“就農をサポート”し、就農後の継続的なケアで農業への“定着”を図ります。新講座開講による学校事業の本格展開を起点としたワンストップのサポートで、新規就農者を増やし農業の担い手不足解消に貢献します。

-----【新規就農者の“育成”】 座学 + 50農園から選べる日帰りインターン実習 -----

「アグリアcademia 就農準備講座」の講義カリキュラムは、座学とインターン実習を用意しています。座学は、「栽培方法」や「農薬の基礎知識」といった農作業に関する講義のほか、農家を取り巻く環境や農村での生活習慣など、現場の声を直に聞いている当社ならではの座学内容です。

座学に加えて、2~4回の短期インターン実習(1回につき1日)も行います。実習先は、首都圏近郊の約50農家から、自身の就農イメージに近い農家を選ぶことができます。週末に日帰りで行う実習のため、働きながら無理なく農作業を体験できます。また、現地で農家や農業法人経営者と話をすることで、「雇用就農」のメリットやデメリットも、直接知っていただきます。



約 50 農家から派遣先を自身で選べる
インターン実習 ※数字は目標
写真は「伊藤農園(神奈川県秦野市)」

----【卒業生の“就農をサポート”】 国内トップ3,000件以上の農家と取引実績をもつ当社が就農先を紹介 ----

当社グループは、農業専門の求人サイト「あぐりナビ」を運営し、3,000件以上の農家と、人材紹介・求人広告の取引実績もっています。農家と求職者の間にミスマッチが生まれぬよう、農家に直接足を運び、実状をリサーチしながら求人情報を収集。時には農家に「もう少し給料をあげないと応募が来ません」など、採用市場の現状を指導・コンサルティングするなどして、適正なマッチングを実現。圧倒的シェアナンバーワンの農業特化人材サービスを提供しています。

その実績を生かし、「アグリアcademia 就農準備講座」の卒業生に対して、就農先の紹介、面接対策などを行い、スムーズに就農できる流れをつくります。インターン実習先に、そのまま就農することも想定しています。卒業後から就農までのサポートは、グループ会社のアグリ・コミュニティが行います。

-----【就農後のケアで“定着”へ】 継続的に悩み相談を受け付けるサポート体制 -----

当社は、当講座の卒業生への就農までのサポートに加えて、実際に就農してからも継続的にケア、フォローを行います。就農後も、卒業生の悩み相談を常時受け付ける窓口を設け、アドバイスをする体制をつくります。就農者ができるだけ就農先になじめるようにサポートし、早期の離農を防ぎます。

-----スピードプランも用意し、1カ月での修了プランも-----

「アグリアcademia 就農準備講座」のプランは全18コマ(3カ月・毎週開催)の「スタンダード」(税抜14万円)と、インターン実習が多めの全20コマ(6カ月・隔週開催)の「スタンダードプラス」(税抜15万円)、さらに短期間で集中したい人には、全9コマ(1カ月・毎週開催)の「スピード」(税抜8万円)プランを用意し、ご希望のペース、内容にあわせて通えます。

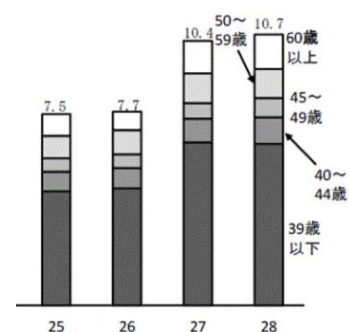
講師は、アグリアcademiaの専任講師で、自身もイチゴ栽培に従事しながら、農業ビジネススクールの講師や企業・団体と協力して農業者支援を行っている金子農園の金子栄治が行います。

開講にあわせて、2018年1月18日(木)から、一期生の募集を開始します。初年度は、全250人の受講を目指します。

----- (参考情報) 農業法人が増加し、新規雇用就農者が過去最多 -----

昨今、企業の農業参入や大規模農業法人の増加により、農業法人などで従業員として働く「新規雇用就農者」が増加しています。農林水産省の調査では、2016年の新規雇用就農者数は2年連続で1万人を超え(右図)、2007年以降最多の1万680人でした。また、そのうちの約7割を占めるのが44歳以下です。

今回の「アグリアcademia 就農講座」は、こうした「雇用就農」を目指す人々をサポートし、就農の間口を広げ、農業従事者の高齢化問題の解決にも貢献していきます。



新規雇用就農者数の推移 (農林水産省)

<「アグリアcademia 就農準備講座」概要>

| 講 義 名 | アグリアcademia 就農準備講座 | | | 開 講 日 | 2018年3月 |
|----------------|---|--|----------------|-------------|---------|
| 定 員 | 各プラン12人まで ※初年度受講者250人を目指す | | | | |
| 講 座 場 所 | 座学 | アグリメディア 新宿本社セミナールーム(新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル41階) | | | |
| | 実習 | 各インターン派遣先(関東近郊の農家、農業法人) | | | |
| プ ラ ン | スタンダード | スタンダードプラス | スピードコース | | |
| | 期間・講座回数 | 3カ月 全10回(毎週) | 6カ月 全10回(隔週) | 1カ月 全5回(毎週) | |
| 講 座 コ マ 数 | 18コマ(インターン2コマ) | 20コマ(インターン4コマ) | 10コマ(インターン1コマ) | | |
| | 料 金 (税 別) | 14万円 | 15万円 | 8万円 | |
| ※別途入学金 2万円(税別) | | | | | |
| インターン先一例 | 「石川農園」(東京都八王子市) お米、シクラメンなどの花卉、果樹など 「伊藤農園」(神奈川県秦野市) トマト、スイートコーン、ブルーベリーなど | | | | |
| U R L | http://sharebatake.school/curriculum#tab2 | | | | |

----- (参考情報) 趣味的農業人向けの有機野菜づくり講座を開催中 -----

当社では、2017年9月から、趣味的農業を楽しみたい人向けの「有機野菜づくり講座」を開いています。堆肥や肥料などの土壌に関する知識や栽培方法を教える“座学”と、実際に畑を使った苗の植え付けや収穫“実習”のダブル講義で、野菜づくりに興味のある人が、より深い知識を得られる講座です。現在、第一期生の講義を開催中(2017年9~2018年2月)で、20人以上の受講生を集めています。

今回の「アグリアcademia 就農準備講座」は、初めて本格的な就農希望者向けに講座を開講します。これまでの、趣味的農業から一歩踏み込んだ内容となっており、有機野菜づくり講座をうけて実際に就農してみたくなった人たちが、準備講座に流れることも誘導します。

-----（参考情報） サポート付き市民農園シェア畑など、農業ビジネスを多角化するアグリメディア-----

アグリメディアは、耕作放棄地や遊休農地を農地として再生させ、サポート付きの市民農園として、一定区画（3㎡～）ごとに貸し出す「シェア畑」を運営しています。シェア畑には、野菜づくりを指導、アドバイスする「菜園アドバイザー」を置いているほか、野菜づくりに必要な農具や肥料、種や苗などすべてを農園にそろえており、利用者は“手ぶら”で自分の畑で野菜づくりができます。



2012年に埼玉県川越市でシェア畑1号農園を開設して以降、5年で70農園まで拡大させ、2017年12月現在、利用者は1.5万人に達しています。

“手ぶら”で野菜づくりができる
「シェア畑」を首都圏中心に続々開設

「シェア畑」の他、“都市と農業をつなぐ”をコンセプトに農業ビジネスを多角化。神奈川県伊勢原市や同県大井町、千葉県柏市などと連携し、農業公園や農家食堂などの施設を運営しています。収穫体験付きのBBQ「ベジQ」や、田んぼやみかんのオーナー制度など、都心から人が集まるコンテンツを企画し、来場者数を増やし、収益を拡大させています。2018年4月には、神奈川県愛甲郡清川村の「道の駅」運営にも参入します。また、農家に特化した人材会社を買収（2017.4）し、農家の担い手不足の問題解決にも取り組んでいます。

<株式会社アグリメディア 会社概要>

| | | | | |
|--------|--|--------------------------------------|---------------|------------------|
| 会社名 | 株式会社アグリメディア | | 設立 | 平成23年(2011年)4月 |
| 代表者 | 代表取締役 諸藤貴志 | | 資本金 | 7億250万円(資本準備金含む) |
| 所在地 | 本社 | 新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル41階 | | |
| | 関西事業所 | 大阪市北区梅田2丁目2番2号 ヒルトンプラザウエストオフィスタワー19階 | | |
| グループ会社 | 株式会社アグリ・コミュニティ | 従業員(連結) | 336名 ※アルバイト含む | |
| 主な事業 | <農業体験・飲食事業> サポート付き市民農園「シェア畑」、収穫体験付BBQ「ベジQ」など <農業人材事業> 農業特化型求人広告「あぐりナビ」、地方自治体の担い手確保事業など <流通事業> 産直野菜、定期配送サービス「朝採れシェフズファーム」など | | | |
| URL | http://agrimedia.jp/ (コーポレートサイト) | | | |

<報道各位からの問合せ先>

株式会社アグリメディア 広報:多田(おおた) 電話:03-6302-0023 携帯:090-6493-0792
MAIL:oota.m@agrimedia.jp

<一般の方からの「アグリアカデミア」に関する問合せ先>

株式会社アグリメディア 学校事業部 :細川(ほそかわ) 電話 03-6302-0023
メールアドレス:info@sharebatake.school